

授業科目	* 栄養教育論実習 I (A クラス)				単位	1		
履 修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT22103J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	永原 真奈見							
授業概要	<p>管理栄養士は、全てのライフステージ、ライフスタイル、健康状態の人々を対象に、自ら健康管理ができるよう栄養教育を行う必要がある。</p> <p>本実習では、栄養教育論1及び2で学んだ知識・理論を基に、個人及び集団におけるカウンセリングや栄養教育を実際に体験し、計画・実施・評価・改善を通して栄養教育マネジメントを学修する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者又は対象集団にあった栄養評価項目を選択し、栄養診断ができる。 2. 診断に基づき、栄養教育計画を作成し、栄養教育を実施することができる。 3. 栄養教育効果を高めるためのプレゼンテーション技術を修得する。 4. 対象者の発達段階や場に応じたコミュニケーションスキルを修得する。 5. 実施した栄養教育を適切に評価し、改善につなげることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	50	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			10				10	
知識・理解 (DP1-2)			5	5			10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10	10			20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10	10			20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			5	5			10	
態度(DP4-2)			10	15			25	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				5			5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル1～5の全てを達成したうえで、本実習以外の対象についても応用することができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者又は対象集団にあった栄養評価項目を選択し、栄養診断ができる。 2. 診断に基づき、栄養教育計画を作成し、栄養教育を実施することができる。 3. 栄養教育効果を高めるためのプレゼンテーション技術を修得する。 4. 対象者の発達段階や場に応じたコミュニケーションスキルを修得する。 5. 実施した栄養教育を適切に評価し、改善につなげることができる。 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:実習ガイダンス、栄養教育方法・グループ学習 ・本授業の進め方について説明する。 ・グループ学習における6-6式討議やKJ法について学ぶ。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:学習形態についてまとめる。	30 60
2	テーマ:リーフレット作成 ・リーフレット作成の対象となるライフステージについて、その特徴をとらえ、題材について深く探求する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:栄養教育教材についてまとめる。	30 60
3	テーマ:個人栄養教育計画(個人指導(1)) ・特定保健指導の実際について学び、対象者のアセスメントを通して、課題を抽出する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:系統的アセスメントについてまとめる。	30 60
4	テーマ:個人栄養教育計画(個人指導(2)) ・対象者の課題に基づき、栄養教育計画及びシナリオを作成する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:個人栄養教育の計画について整理し、理解する。	30 60
5	テーマ:個人栄養教育計画(個人指導(3)) ・指導教材を作成し、特定保健指導のロールプレイを行う。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:個人栄養教育の計画について整理し、理解する。	30 60
6	テーマ:個人栄養教育実施・モニタリング(個人指導(4)) ・クラス内発表を実施し、相互評価を行う。評価で得られた事項を取り入れて改善案を作成する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:個人栄養教育の実施・評価・改善について整理し、理解する。	30 60
7	テーマ:個人栄養教育実施・モニタリング(個人指導(5)) ・クラス内発表を実施し、相互評価を行う。評価で得られた事項を取り入れて改善案を作成する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:個人栄養教育の実施・評価・改善について整理し、理解する。	30 60
8	テーマ:対象別集団栄養教育(1)(計画) ・指導略案について学び、集団における栄養教育計画を作成する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:指導略案の書き方を理解する。	30 60
9	テーマ:対象別集団栄養教育(2)(計画) ・対象とするライフステージ及び課題を設定し、指導略案を作成する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:指導略案について整理し、まとめる。	30 60
10	テーマ:対象別集団栄養教育(3)(計画) ・栄養教育計画に基づき、シナリオを作成する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:シナリオについて整理し、まとめる。	30 60
11	テーマ:対象別集団栄養教育(4)(計画) ・栄養教育計画に基づき、教育教材を作成する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:教材・媒体について整理し、まとめる。	30 60
12	テーマ:対象別集団栄養教育(5)(計画・実施) ・グループ内発表及び評価を行い、改善点を見つける。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。	30 60

			復習:改善案に基づき、発表練習をする。	
13	テーマ:対象別集団栄養教育(6)(実施・評価) ・ライフステージ別栄養教育を実施する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:発表を振り返り、改善点をまとめる。	30 60
14	テーマ:対象別集団栄養教育(7)(実施・評価) ・ライフステージ別栄養教育を実施する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:発表を振り返り、改善点をまとめる。	30 60
15	テーマ:対象別集団栄養教育(8)(改善)及びまとめ ・実施した栄養教育の自己評価及び他者評価を元に、教育計画を改善する。 ・個人及び集団における栄養教育の重点項目を解説する。	実習	予習:テーマを予習し、まとめる。 復習:個人及び集団の栄養教育全般について整理し、まとめる。	30 60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでに履修した専門基礎科目及び専門科目(特に栄養教育論1及び2は必須)をしっかりと復習し、理解した上で授業に臨む姿勢が必要です。			
テキスト	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(監修):「栄養教育論(改訂第5版)(健康・栄養科学シリーズ)」(南江堂)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書:赤松利恵・永井成美 著「栄養カウンセリング論」(化学同人) データベース:厚生労働省ホームページ、文部科学省ホームページ、農林水産省ホームページ、日本栄養士会ホームページ			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	栄養教育は、科学的根拠に基づいたデータや媒体を理解して計画に取り入れ、実施します。図書館(雑誌を含む)やインターネット等で関連情報を入手し、判断する力を養いましょう。また、日常から自分自身の栄養や健康について考え、行動することができるようにしましょう。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	評価については、授業の中で指示します。 レポートはコメントを添えて返却します。